



平成27年12月25日

各位

上場会社名 シグマ光機株式会社  
 代表者 代表取締役社長 近藤 洋介  
 (コード番号 7713)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 菊池 健夫  
 (TEL 03-5638-8221)

## 平成28年5月期第2四半期累計期間(連結・個別)及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年7月10日に公表いたしました平成28年5月期(平成27年6月1日～平成28年5月31日)の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成28年5月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,345	195	245	145	19.25
今回修正予想(B)	3,608	331	392	262	34.91
増減額(B-A)	263	136	147	117	
増減率(%)	7.9	70.1	60.3	81.4	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成27年5月期第2四半期)	3,109	146	196	99	13.25

平成28年5月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,270	555	665	415	55.09
今回修正予想(B)	7,400	660	740	470	62.39
増減額(B-A)	130	105	75	55	
増減率(%)	1.8	18.9	11.3	13.3	
(ご参考)前期実績(平成27年5月期)	6,676	435	555	327	43.41

平成28年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年6月1日～平成27年11月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,960	175	90	11.94
今回修正予想(B)	3,108	296	195	25.93
増減額(B-A)	148	121	105	
増減率(%)	5.0	69.2	117.1	
(ご参考)前期第2四半期実績(平成27年5月期第2四半期)	2,816	170	85	11.30

平成28年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年6月1日～平成28年5月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,500	510	300	39.82
今回修正予想(B)	6,500	570	345	45.80
増減額(B-A)	—	60	45	
増減率(%)	—	11.8	15.0	
(ご参考)前期実績(平成27年5月期)	6,019	449	252	33.58

## 修正の理由

### 1. 平成28年5月期 第2四半期累計期間（連結・個別）

平成28年5月期第2四半期累計期間(連結・個別)の業績予想につきまして、売上高は、前回予想を上回る見込みとなりました。これは、国内産業分野の研究開発投資・設備投資意欲の回復、中核技術を複合・融合した高付加価値レンズユニットや光学システム製品等の需要拡大、更には海外グループ子会社の販売展開強化等により、国内外の携帯端末市場に関連する半導体・電子部品業界やモバイル用FPD業界、あるいは、バイオ・医療業界等の受注が堅調に推移していることによるものです。

利益面につきましても、増収に伴う利益の増加に加え、生産の効率化による原価率の改善や全社的な経費削減等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに、前回予想を上回る見込みとなりました。

### 2. 平成28年5月期 通期（連結・個別）

第3四半期以降につきましては、国内産業分野の研究開発投資・設備投資や中国経済の今後の見通しに不透明感がありますが、国内市場の受注環境に回復傾向が見られることや今後の海外市場への展開強化等により、概ね堅調に推移するものと予想しております。このため、通期の売上高は期初予想を上回る見通しとなりました。

利益面についても、社内設備投資や研究開発投資の増加が見込まれるものの、生産の効率化や全社的な経費削減等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに期初予想を上回る見通しとなりました。

※上記の予想は、内外の経済状況、為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、本資料の発表日現在において入手可能な情報を基に、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づき作成したものであり、その実現は約束するものではありません。

実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上